

代表質問発言通告書

発言順位 1 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

平成29年2月22日

三島市議会議長 松田 吉嗣 様

三島市議会議員 14番 佐野 淳 祥



質問事項および具体的内容

持続的な市政を実現するために重要となる市税歳入において、わが市は昨年度県内唯一増加した自治体であり、個人市民税においては、平成23年以来増加し続け、27年度決算では70億円を超えた。ひととまちが魅力を発揮する市政を推進し、自主財源の確保を維持していくことが三島市の目指すべき姿であると捉え、以下に質問する。

1. 歳入確保のための経営戦略について

- ① 人口減少や少子高齢化の影響が強く出る個人市民税について今後の予測と課題はなにか。
- ② ふるさと納税による施策への貢献と増加策について
- ③ 首都圏勤務の市民における新幹線ひかり号の需要は把握しているか。

2. ひとが輝くためのスマートウェルネスならびに、文化とスポーツについて

- ① 大相撲力士を輩出する当市の相撲文化に対する考えと認識について
- ② まちづくりに位置付ける文化振興をどのように推進していくのか。
- ③ 東京オリンピック・パラリンピック文化プログラムの計画はどのようになっているか。
- ④ ひとが集まる市民文化会館の魅力ある施設・空間をどう創造していくのか。
- ⑤ 今までになかったスポーツ大会、文化イベントとは、どんなものを想定しているか。
- ⑥ みしまタニタ健康くらぶ、みしま健康塾、街中ほっとサロンの稼働状況について
- ⑦ お達者度の延伸状況、幸福度、外出頻度の増加状況の検証は。

3. 子育て世代に選ばれる教育環境を目指すために

- ① 新しい学習指導要領の内容はどのようなものか。
- ② 先行実施において、県や市教育委員会からの指示はあるのか。

4. 安心できる出産環境の整備について

- ① 周産期センターの稼働状況について
- ② 勤務体系の現状と今後について

5. まちが輝くための経済について

- ① 若者の流出を防ぐために、市内中小企業への就業促進はどのようにしているか。三島青年会議所と日本大学国際関係学部の取り組みについて
- ② 起業におけるこれまでの推移と目標値について

代表質問発言通告書

発言順位 2 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

平成29年 2月 22日

三島市議会議長 松田吉嗣様

三島市議会議員 11 番

大房 正治



質問事項及び具体的内容

三島市の人口は、2040年には現在より2万人以上減少し9万人を切ると予想され、特に生産年齢人口は、現状の7万人から4万7千人にまで減少すると見込まれている。生産年齢人口の減少は、三島市の潜在成長率を押し下げ、持続的経済成長に大きな影響を与えることが懸念される。平成29年度の施政方針と予算案のテーマである人口減少・少子高齢化問題に対し、下記の通り伺う。

1. 【地方創生】

減少する人口と縮小する経済への対応について

- (1) 老年人口の増加と生産年齢人口の減少を克服する政策と見込まれる効果について
- (2) 若者の転出超過対策としての通勤定期の半額無利子貸付について
- (3) 製造品出荷額、商品販売額、事業所数の大幅な減少への対応について
- (4) 三ツ谷工業団地の後の産業支援政策としてサテライトオフィス、リモートワーク、テレワーク等への支援を提案するがどうか。

2. 【移住・定住対策事業】

「住むなら三島・総合戦略」の「三島市への新しいひとの流れをつくる」の施策の推進について、今後の取り組みを伺う。

- (1) 移住・定住促進事業について
- (2) 三島ぐらし住宅支援事業について
- (3) 住むなら三島移住サポート事業について
- (4) 移住・子育て・耐震リフォーム事業について

3. 【三島駅南口再開発事業】

(1) 三島駅南口再開発事業の必要性について

- ① 三島駅南口再開発事業が今必要な理由は。
- ② 三島駅周辺ランドデザインの重要性と東街区への機能導入コストについて
- ③ 再開発事業により市民が受ける恩恵について

(4) 三島駅南口東街区再開発事業について

- ① 三島駅南口東街区の私有地でボーリング調査を実施したが、溶岩層の状況はどうだったか。
- ② ボーリング調査の結果から予想される建物の地下構造は。
- ③ 今後の東街区の工程と再開発の手法について

(5) 三島駅南口西街区再開発事業について

- ① ホテルを中心とした広域観光交流拠点づくりの具体的な工事スケジュールは。
- ② トイレ、観光協会等の移転など市民生活に影響があることについての市民への周知は。

代表質問発言通告書

発言順位 3 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

平成 29 年 2 月 22 日

三島市議会議長 松田 吉嗣 様

三島市議会議員 20 番 佐藤 寛文



質問事項及び具体的内容

平成29年度施政方針及び予算案に関連して以下伺う。

1 予算編成について

- ① 予算要求額と実際の予算額との乖離（25億4千万円）について
どのようにして均衡を図ったのか。また、その中で事業の優先順位として平成29年度は特にどの分野に比重を置いたのか伺う。
- ② トップランナー方式の導入による地方交付税への影響額と本市の対応について
- ③ 基準財政収入額の算定に用いる徴収率の見直しによる地方交付税の影響額について

2 幅広い世代の方々や企業から選ばれる都市（まち）の創生について

- ① この1年三島市は選ばれたと市長は感じているのか、ご所見を伺う。
- ② 市長は選ばれる都市（まち）の具体的な着地点をどのように考えているのか。
- ③ 観光交流人口の増加に伴う、税収・経済効果を上げる施策について

3 三島駅南口再開発事業について

- ① 西街区のホテル事業における税収効果等について
- ② 東街区の事業の遅れによる様々な影響について
- ③ 東街区について市民合意を得ているという考え方について
- ④ モデル案やランドデザインに捉われずに市民と共に考える必要性について

4 新たな執行体制について

- ① 副市長を2人にする必要性と、その根拠について伺う。
- ② どのような場合に1人では対応できないのか、個別具体的に伺う。
- ③ 副市長が1人が増えると、報酬等で年間約1,500万円（4年間約6,000万円）の歳出増だが、費用対効果の検証はされているのか。

5 循環型社会の形成について

- ① 収集（燃えるごみ）の厳密化による減量効果について
- ② 更なるごみ減量に向けた新年度の施策について

代表質問発言通告書

発言順位 4 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

平成29年 2月 22日

三島市議会議長 松田 吉嗣 様

三島市議会議員 7番 堀江 和雄



質問事項及び具体的内容
大好き、みしま暮らし。この街で暮らしたい。いきいき三島ライフを満喫。仕事を変えずに自然環境豊かな地方に住みたい、そんなあなたに1泊2日の三島市移住体験ツアー。昨年の移住・定住促進の雑誌じゃらんに掲載されているキーワード。このトキメキを多くの移住希望者の届けたい。この実現にむけて示された新年度施政方針から確認したい。
1、住むなら三島・総合戦略と新年度3点の最重要施策について
(1) 2017年度、雇用の場をつくり、生産年齢人口の増加につなげる事業の期間設定は。
(2) 機構改革と副市長2人制によるトップマネジメント体制について
① 庁内協議（最高意思決定機関）の新設は、副市長の能力発揮の環境づくりは。
② 庁内横断のまちづくりプロジェクト体制（雇用の場、教育・子育て環境、住居環境）が必要ではないか。また議会毎に報告する体制を提案するがどうか。
(3) 機構改革と重要事項推進に伴い、市長の更なるトップセールスへの期待があるがどうか。
(4) 他市町の企業誘致（工業団地）の現状把握と客観的比較はしているか。
① トップセールスでは、民間企業のノウハウも必要ではないか。
(5) 企業の本社機能移転目標2社について
2、三島市の財政と投資的経費について
(1) 臨時財政対策債及び地方交付税額の推移と、交付額における臨時財政対策債の元利償還金との差について
(2) 市債と債務負担行為を含めた将来支出決定額の推移は。
(3) 予算に占める投資的経費の割合と投資的経費に占める充当一般財源の減少について
(4) 市民税は増えたが、市民一人あたり、法人市民税などの課題は。
(5) これからの市営住宅に対する考え方取り組みについて
(6) 空き家対策は民間との協働で更なる情報公開の必要性について
(7) 都市計画道路の費用便益分析事業について
3、学校教育環境について
(1) 三島市学校教育振興基本計画の期間中間検証と5か年行動計画について
(2) 寺子屋事業と学校支援地域本部について
4、生活困窮者自立支援事業について
(1) 生活支援センターとして委託事業の事業評価について
(2) 学習支援事業について
5、地域包括ケアシステムについて
(1) 医療介護連携センター機能について
(2) 総合支援事業への取り組みについて

代表質問発言通告書

発言順位 5 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

平成29年 2月22日

三島市議会議長 松田 吉嗣 様

三島市議会議員 17番

川原 章寛



質問事項及び具体的内容

豊岡市政2期目の任期も折り返しを迎えられ、これまで蒔かれた施策の種が芽吹き、花を咲かせつつありますが、市制施行100周年に向けました初年度と致しまして、酉年に相応しく果実を極限まで成熟させ、更なる本市の発展に繋げるべく、平成29年度施政方針並びに予算案に対しまして、下記の通り伺います。

1、将来負担の軽減に向けた持続可能な財政経営について

- ① 市債残高の削減に向けた取組について
- ② 自主財源比率65%に向けた取組について

2、更なる発展・活性化に向けた成長戦略について

- ① 既存企業を取り巻く環境及び盛業化に向けた支援の拡充について
- ② 三ツ谷工業団地を含めた企業誘致の推進について
- ③ 三島駅南口東街区再開発事業の再検討に伴う方向性について

3、合計特殊出生率1.8の達成に向けた子育て支援の拡充について

- ① 希望を持って子どもを産み育てられる環境の整備について
- ② 将来負担となる子育て支援策の見直し及び拡充について

4、いつまでも元気でいきいき暮らせるまちづくりについて

- ① 敬老祝い金の見直しに伴う高齢者福祉の拡充について
- ② 高齢者の身近な相談窓口の開設及び居場所づくりについて

5、未来を担う子ども達の健全育成に向けて

- ① 各小中学校における施設整備の推進について
- ② 学校職員安全衛生協議会の設置について
- ③ 教職員の多忙化解消に向けた取組について
- ④ 特別な配慮が必要な児童・生徒等への支援拡充について

以上

代表質問発言通告書

発言順位 6 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

2017年2月22日

三島市議会議長 松田 吉嗣 様

三島市議会議員 9番 服部 正平



質問事項及び具体的内容
三島市の「ガーデンシティみしま」・「スマートウエルネスみしま」この基本施策に磨きをかけるとした施政方針及び2017年度予算案について以下伺う。
1. 「住むなら三島・総合戦略～まち・ひと・しごと創生～」の取り組みについて
(1) 「人口減少打開に向け、生き残りをかけた競争に勝利すべく」との市長の基本姿勢について伺う。
①国が東京一極集中から地方強化の立場でいると思われているか伺う。
②すでに国は「スーパー・メガリージョン構想（国際競争力強化策）」に邁進し、地方切り捨てに動き出していると考えますが、市長の見解を伺う。
(2) 住むなら三島・総合戦略の基礎となる三島市の人口ビジョンの精度とその調査方法について
①基本調査のフォーマットは三島市独自に作成されたのか伺う。
②三島市の将来推計の人口はビジョンといえるものか伺う。
(3) すべての人が幸せを感じ・夢を持てる現実的な三島の未来に向けた予算について
①今を生き、三島の未来を支える世代への投資を重点にした予算となっているか伺う。
②「平和都市」「核非武装宣言」を謳い心から平和を願う三島市に即した事業発展について伺う。
2. 収められた税金の使い方（使い道）について
(1) 「ふるさと納税」の現状について
①ふるさと納税における収支バランスの実態について伺う。
②他市町の動向に対する評価と三島市の今後の取り組み姿勢について伺う。
(2) マイナンバー制度への多額な税投入が市民ニーズに込えているかについて
①マイナンバー制度導入における費用と今後に係るランニングコストからの費用対効果について伺う。
②市民サービスの向上となると導入促進を行っているが、実際導入後どのように向上したか伺う。
③個人情報保護が強く求められている中で、個人ナンバーが記載された「特別徴収義務者用の税額通知」を勤務先に送ることには問題がないか伺う。
(3) 三島駅南口西街区再開発事業の取り組みについて
①三島駅南口西街区における事業における市民の反応をどのように評価し、どう応えるのか伺う。
②西街区整備においては、観光案内所移設（今後のコスト）、観光トイレ、駐輪場、地下水保全等において多額の予算が計上されている。それに見合う駅周辺を周遊する来訪者数・収益の見込みについて伺う。